

たいにい・ぽっくすつうしん

Vol.20

平成28年
11月14日

季節のイベントで「時を感じる」

立冬を迎え、暦の上で冬になりました。バイク通勤しているスタッフは電車通勤に切り替え、それでも寒さで肩を強張らせて出勤しています。

私が幼いころは、“ハロウィン”なんて、英語の教科書に載っているから知っている異文化のお祭りでした。毎年、さらなる盛り上がりを見せる“ハロウィン”は、子どもたちにも楽しいイベントです。「お菓子をもらえる」「仮装して楽しむ」のイメージが強い“ハロウィン”は、どんな意味があるお祭りなのか帰りの会でお話しました。「なんで仮装するの?」と聞くと答えてくれるかもしれません。

11月は、大きなイベントがないので、スタッフは創作のテーマに頭を悩ませています。

たいにいの かつどう

「トリック・オア・トリート!!!」。作ったジャック・オー・ランタンにお菓子を詰め込みました。ジャックって誰か知っていますか?



色とりどりのパンプキンもできました。

パンプキンパイとソーセージを餃子の皮でくるんだミイラを作りました。

福祉の情報

就労支援移行事業所について、日本知的障害者福祉協会の発行している「さぼ一と」が特集してました。一般就労を希望する障がい者に対して、作業や実習の提供、適性に合った職場探し、就労後の職場定着などの支援を行うことが就労支援移行事業所の役割です。2013年4月、障害者の法定雇用率が2.0%になり、将来的には2.2%に引き上げられることが見込まれています。

就労移行支援事業所等の障害福祉サービスから一般企業への就職者が1万人を超えたとのデータがあるなか、その実態は、雇用の地域格差、職場定着の不十分、就労移行に繋がらない利用者等々と課題を抱えているところが多くあります。日本の倍以上の法定雇用率が設定されている先進国もありますが、障がい者の雇用に何が求められ何を指すべきなのか共に考える必要があります。



12月 イベントの予定

クリスマス会
冬季長期休暇
(計画書参照)

12月 休業日

3日4日
10日11日
17日18日23日
24日25日
29日30日31日